

畜産みやぎ

発行所

名取市増田字柳田379番地1

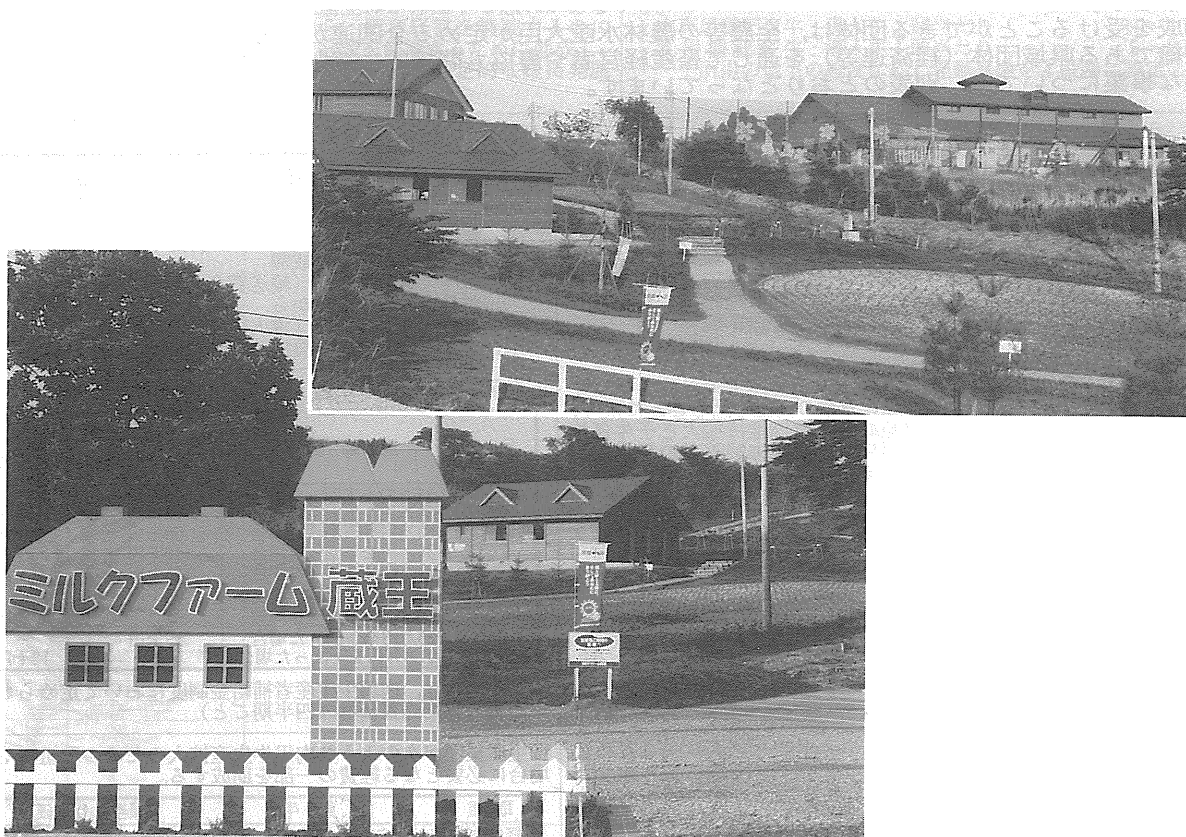
社団法人 宮城県畜産会

電話 (382-8133)

編集発行人 大堀 哲

定価 1部80円

印刷所 (株)東北プリント



「ミルクファーム蔵王」白石市福岡深谷字即安16-5

も く じ

平成9年度指定助成対象事業について…… 2
 第47回東北畜産学会大会開催報告…… 4
 県牛削蹄師競技大会の結果について…… 5
 第7回全国和牛能力共進会結果報告…… 5
 '97ナチュラルチーズフェアの開催について…… 5
 農林水産祭参加第37回仙台牛枝肉共進会の
 開催について…… 6
 你们好(ニーメンハオ)皆さん今日は…… 6
 抱負…… 7
 第9回全国和牛能力共進会を視察して…… 7
 最近のクローン研究について…… 8
 牛のリステリア症…… 9
 酪農テーマパーク「ミルクファーム蔵王」
 オープン…… 9
 経営効率化機械リース事業の紹介…… 10

平成9年度指定助成対象事業について

宮城県畜産課

指定助成対象事業は、「農畜産業振興事業団法」に基づき、①国が直接実施する補助事業としてなじみがたい事業、②国の補助事業を補完するための事業、③畜産をめぐる諸情勢の変化に対応して緊急に行う事業について、民間における自主的な畜産振興のための取り組みを助長することとして実施されるものであり、農畜産業振興事業団は、毎年度、指定助成対象事業についてその経費を助成しています。

この事業の財源は、平成2年度までは、輸入牛肉の売買差益を主たる財源としてきまいたが、平成3年度からは、牛肉等の関税収入を財源として国からの交付金を主体に措置されています。

平成9年度の指定助成対象事業については、畜産物の生産コストの低減、生産基盤の強化、畜産経営の体質強化、ゆとりある経営の実現、加工処理・流通の再編合理化対策、畜産環境保全対策、衛生・防疫対策、畜産物の需要の回復・拡大対策等を重点とした事業が展開されており、各分野にわたり80を越える事業が実施されております。

助成を受けることができる団体は、全農等の農林水産大臣が定める全国連がほとんどですが、この団体の下部組織である県域団体（経済連等）を通じて畜産経営者や農協も間接的に補助を受けることができます。

主な事業については、別表のとおりとなっております。

(畜産経営係 鈴木 秀彦)

項目	事業名	事業の目的	事業内容																																				
〔食肉関係〕 生産対策	優良肉用牛資源有効活用促進事業	子牛価格が低落した場合、繁殖用雌子牛及び飼養放棄される成雌牛を農協等が買い上げ、規模拡大の意欲を有する者に貸付け等を行うことにより、肉用牛資源の維持・確保及び改良増殖の推進を図る。	育種資源確保対策事業 ① 雌牛導入型 1頭当たりの購入助成額 県内 8万2千円（輸送費含む） 県外 8万4千円から 9万3千円（導入距離に対応） 家畜導入主体 農協、農協連、公社																																				
	子牛生産拡大奨励事業	肉専用種繁殖経営における子牛生産拡大意欲の向上を図ることにより、繁殖雌牛頭数の維持拡大と子牛価格低落時の繁殖雌牛飼養者の経営安定を図る。	発動基準と奨励金単価 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">品 種</th> <th rowspan="2">発 動 基 準</th> <th colspan="2">1 頭 当 たり</th> </tr> <tr> <th>拡大奨励金 (増 頭)</th> <th>生産奨励金 (維 持)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">黒毛和種</td> <td>35万円を下回った場合</td> <td>10千円</td> <td>7千円</td> </tr> <tr> <td>34万円を下回った場合</td> <td>20千円</td> <td>15千円</td> </tr> <tr> <td>33万円を下回った場合</td> <td>30千円</td> <td>22千円</td> </tr> <tr> <td>32万円を下回った場合</td> <td>40千円</td> <td>30千円</td> </tr> <tr> <td>31万円を下回った場合</td> <td>46千円</td> <td>34千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">褐毛和種</td> <td>32万円を下回った場合</td> <td>25千円</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>29万円を下回った場合</td> <td>—</td> <td>16千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他の肉専用種</td> <td>23万円を下回った場合</td> <td>19千円</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>21.4万円を下回った場合</td> <td>—</td> <td>12千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>子牛価格は、肉用牛生産者補給金制度において定められる指定市場の平均売買価格（四半期ごと）</p>	品 種	発 動 基 準	1 頭 当 たり		拡大奨励金 (増 頭)	生産奨励金 (維 持)	黒毛和種	35万円を下回った場合	10千円	7千円	34万円を下回った場合	20千円	15千円	33万円を下回った場合	30千円	22千円	32万円を下回った場合	40千円	30千円	31万円を下回った場合	46千円	34千円	褐毛和種	32万円を下回った場合	25千円	—	29万円を下回った場合	—	16千円	その他の肉専用種	23万円を下回った場合	19千円	—	21.4万円を下回った場合	—	12千円
	品 種	発 動 基 準	1 頭 当 たり																																				
			拡大奨励金 (増 頭)	生産奨励金 (維 持)																																			
	黒毛和種	35万円を下回った場合	10千円	7千円																																			
		34万円を下回った場合	20千円	15千円																																			
33万円を下回った場合		30千円	22千円																																				
32万円を下回った場合		40千円	30千円																																				
31万円を下回った場合		46千円	34千円																																				
褐毛和種	32万円を下回った場合	25千円	—																																				
	29万円を下回った場合	—	16千円																																				
その他の肉専用種	23万円を下回った場合	19千円	—																																				
	21.4万円を下回った場合	—	12千円																																				
肉用牛産地拡大推進事業	肉用牛の生産の拡大を図るためには、これまでモデル的に取り組まれてきた新生産方式等を、積極的かつ総合的に経営内に取り込む中核的な肉用牛農家を組織的に育成していくことが重要である。 このため、経営内一貫生産方式の導入による肉用牛生産拡大のための生産集団の取組みを強化支援し、肉用牛生産基盤の強化・拡大に資する。	生産集団が次のような肉用牛生産拡大のための取組みを行う場合に必要となる経費の一部を助成する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>取 組 み</th> <th>対 象 牛</th> <th>1 頭 当 たり 単 価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経営内一貫</td> <td>自家生産肥育牛</td> <td>2万7千円</td> </tr> </tbody> </table>	取 組 み	対 象 牛	1 頭 当 たり 単 価	経営内一貫	自家生産肥育牛	2万7千円																															
取 組 み	対 象 牛	1 頭 当 たり 単 価																																					
経営内一貫	自家生産肥育牛	2万7千円																																					
肉用牛生産安定緊急対策事業	改良集団による繁殖雌牛群の整備のための沙汰更新、計画的な交配の推進、雌牛の肥育技術の確立を図るとともに、市場取引の活性化、子牛の資質の向上、斉一化を推進することにより、国内の牛肉及び子牛生産の安定に資する。	肉用牛生産安定対策 ・繁殖雌牛改良集団に対する活動奨励金 1改良集団当たり400千円 1頭当たり 35千円 ・繁殖雌牛の沙汰奨励金 1頭当たり 35千円 ・改良集団における繁殖雌牛指定交配奨励金 1頭当たり 20千円以内 1頭当たり 20千円以内 ・雌子牛の肥育適正利用奨励金																																					
中核肉用牛繁殖経営育成対策事業	規模拡大に意欲的な経営体への繁殖雌牛の導入や自家保留を一層促進するための支援対策を講じることにより、10頭以上の経営体を早急に育成し肉用牛資源の拡大を図る。	繁殖雌牛を飼養する生産者が、一定飼養規模への増頭計画（3年間）に基づいて繁殖雌牛を増頭した場合、増頭実績に基づいて奨励金を交付する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>3年後の目標頭数</th> <th>増頭1頭当たり奨励金単価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①5～9頭規模</td> <td>6万円</td> </tr> <tr> <td>②10頭以上規模</td> <td>8万円</td> </tr> <tr> <td>うち30頭を超える増頭分</td> <td>6万円</td> </tr> </tbody> </table>	3年後の目標頭数	増頭1頭当たり奨励金単価	①5～9頭規模	6万円	②10頭以上規模	8万円	うち30頭を超える増頭分	6万円																													
3年後の目標頭数	増頭1頭当たり奨励金単価																																						
①5～9頭規模	6万円																																						
②10頭以上規模	8万円																																						
うち30頭を超える増頭分	6万円																																						
養豚生産基盤強化対策事業	一貫経営農家等の集団化とともに、集団を核とした生産性の向上、品質・規格の統一、環境問題への適切な対応等を図り、生産者と流通関係者が一体となった養豚生産基盤の強化に資する。	1 養豚生産基盤強化推進事業 地域の生産基盤強化のための推進会議の開催、技術成績の収集分析、指導及び技術情報収集、分析のための機器及びソフトの整備。 2 優良種豚導入奨励事業 ・純粋種豚導入に対する奨励金 1頭当たり30千円以内 ・優良種豚導入に対する奨励金 1頭当たり15千円以内 3 養豚生産集団確立事業 地域生産集団組織運営強化のための会議開催、生産技術向上のための研究会開催、畜産環境保全対策の実施他。																																					

項目	事業名	事業の目的	事業内容																									
〔食肉関係〕 生産対策	地域養豚振興特別対策事業	国内の豚肉の生産量は毎年5%程度減少を続けており、国内養豚の脆弱化が進行しており、国内の豚肉生産体制の抜本的な強化が必要とされる。この状況に対処するため、各地域において、豚肉の生産、流通に関わる組織等が一丸となり生産性向上のための多様な活動を積極的に支援し、養豚の振興を図っていく。	県段階において、養豚生産集団が自ら基金を造成し事業を展開する。 ① 地域養豚振興体制推進指導事業 肉豚の生産振興、安定的な生産流通体系の確立を図る。 ② 地域養豚振興体制促進事業 肉豚の生産振興、生産効率の改善に資する器具、資材、簡易施設等の整備。肉豚の銘柄化の促進、産直体制の確立、地場消費の促進。																									
〔食肉関係〕 経営対策	肉用牛肥育経営安定緊急対策事業	牛肉輸入自由化に伴い、牛肉枝肉価格の低下による肉用牛肥育経営の収益性の一時的な悪化が懸念され、牛肉生産全体が停滞する恐れがあることから、肥育経営を継続するのに必要な経費を軽減するために助成し、もって肥育経営の安定的な維持発展を図る。	肥育牛1頭当たりの四半期平均推定所得が、販売価格の低落等により、家族労働費を下回った場合、その後の経営を継続するのに必要となる素畜導入等の経費を軽減するための助成を行う。 肉専用種肥育牛：導入牛1頭当たり 10～40千円 乳用種肥育牛：導入牛1頭当たり 5～20千円 〔所得の低下の程度に応じ発動基準を4段階に設定〕																									
	大家畜経営活性化資金特別融通助成事業	負債の償還が困難な酪農及び肉用牛経営について、既貸付金の条件緩和等の措置とあわせて長期低利資金の融通を行うことにより、経営の安定・活性化及び後継者への経営継承の円滑化を図る。	貸付要件（個人の場合・頭数規模） <table border="1"> <thead> <tr> <th>経営種類</th> <th>家畜の種類</th> <th>一般</th> <th>特認</th> <th>後継者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>酪農</td> <td>乳用成雌牛</td> <td>15頭</td> <td>25頭</td> <td>25頭</td> </tr> <tr> <td>肉用繁殖</td> <td>繁殖雌牛</td> <td>5</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>肉専肥育</td> <td>肉専肥育牛</td> <td>10</td> <td>20</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>乳用肥育</td> <td>乳用肥育牛</td> <td>15</td> <td>30</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table> <p>貸付期間 平成5年度～平成12年度 償還期間 ① 経営活性化資金 15(特認20)年以内うち据置3年以内 ② 後継者経営継承円滑化資金 25年以内うち据置5年以内 末端貸付利率 ① 経営活性化資金 3.00%(特認3.00%)以内 ② 後継者経営継承円滑化資金 3.00%以内 融資機関 農協、農協連、知事指定銀行等</p>	経営種類	家畜の種類	一般	特認	後継者	酪農	乳用成雌牛	15頭	25頭	25頭	肉用繁殖	繁殖雌牛	5	10	10	肉専肥育	肉専肥育牛	10	20	20	乳用肥育	乳用肥育牛	15	30	30
経営種類	家畜の種類	一般	特認	後継者																								
酪農	乳用成雌牛	15頭	25頭	25頭																								
肉用繁殖	繁殖雌牛	5	10	10																								
肉専肥育	肉専肥育牛	10	20	20																								
乳用肥育	乳用肥育牛	15	30	30																								
	養豚経営活性化資金特別融通助成事業	負債の償還が困難な養豚経営について、既貸付金の条件緩和等の措置とあわせて長期低利資金の融通を行うことにより、経営の安定・活性化及び後継者への経営継承の円滑化を図る。	貸付要件（個人の場合・頭数規模） <table border="1"> <thead> <tr> <th>経営種類</th> <th>家畜の種類</th> <th>一般</th> <th>特認</th> <th>後継者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>繁殖経営</td> <td>繁殖雌豚</td> <td>30頭</td> <td>45頭</td> <td>45頭</td> </tr> <tr> <td>肥育一貫</td> <td>肥育豚</td> <td>300</td> <td>450</td> <td>450</td> </tr> </tbody> </table> <p>貸付期間 平成5年度～平成12年度 償還期間 ① 経営活性化資金 7(特認10)年以内うち据置3年以内 ② 後継者経営継承円滑化資金 15年以内うち据置5年以内 末端貸付利率 ① 経営活性化資金 3.00%(特認3.00%)以内 ② 後継者経営継承円滑化資金 3.00%以内 融資機関 農協、農協連、知事指定銀行等</p>	経営種類	家畜の種類	一般	特認	後継者	繁殖経営	繁殖雌豚	30頭	45頭	45頭	肥育一貫	肥育豚	300	450	450										
経営種類	家畜の種類	一般	特認	後継者																								
繁殖経営	繁殖雌豚	30頭	45頭	45頭																								
肥育一貫	肥育豚	300	450	450																								
	乳肉複合経営体質強化事業	酪農経営の体質強化及び牛肉資源の拡大を図るため、酪農家の有する哺育技術等を活用し、酪農家が個人又は集団で初生牛の哺育、育成又は肥育を行うなど多様な形態で乳肉複合化を推進する。	1. 乳肉複合経営体質強化推進事業 (1) 乳肉複合経営促進型 ① 高品質初生牛生産奨励金（おおむね1月以上の哺育） 7千円/頭 ② 乳用雄牛等育成奨励金（6ヶ月齢以上） 14千円/頭 ③ 酪農家集団哺育育成奨励金（6ヶ月齢以上） 12千円/頭 (2) 地域内乳肉複合促進型 ① 共同育成奨励金（6ヶ月齢以上） 4千円/頭 2. 酪農経営経産牛活用対策事業 (1) 経産牛肥育促進型 ① 経産牛肥育奨励 20千円/頭 (2) 繁殖利用促進型 ① 繁殖利用奨励金 ア. 受精卵移植型（肉専子牛生産・双子生産） 43千円/頭																									
	畜産環境保全施設整備事業	環境規制の厳しい地域の畜産経営が家畜ふん尿の強制発酵施設、浄化処理施設を畜産環境整備リース事業により整備する場合、その負担軽減を図ることにより、畜産経営の環境保全を推進する。	環境規制の厳しい地域の畜産経営者に対し、(助畜産環境整備機構が家畜ふん尿の強制発酵施設、浄化処理施設をリースするのに必要な当該施設の購入費の一部(1/3)について助成を行う。																									
〔酪農関係〕 生産経営対策	酪農ヘルパー傷病時利用円滑化特別対策事業	病気・事故の際に酪農ヘルパーを利用しやすくするための互助制度の円滑な実施とその定着を図るため、互助制度のモデル的な実施とともに、的確なシステム設計のための調査、検討を行い、傷病時のヘルパー利用の円滑な推進に資する。	酪農ヘルパー利用組合加入農家の拠出により積み立てられた積立金により傷病時のヘルパー利用料金を軽減する互助制度をモデル的に実施する利用組合に対してその経費の一部を助成する。																									

第47回東北畜産学会大会開催報告

宮城県畜産課

第47回東北畜産学会大会が平成9年8月21日～22日に仙台サンプラザにおいて開催されました。

東北地方は自然環境に恵まれ、日本の21世紀を担う重要な食料基地として大きな期待が寄せられています。しかし、昨今の狂牛病問題や病原性大腸菌O-157問題による集団食中毒の発生などに見られるように、我々畜産関係者には、より安全な畜産物の生産、供給に対する責務が高まってきております。

このような状況を踏まえ、畜産分野の各職域において、畜産行政を含め、技術、経営の確立及び開発などに取り組んでいる産学官の関係者が、一丸となって研究を進めているところであります。

今回、東北地方の畜産関係者が一堂に会し、最新の畜産技術の紹介と情報の交換を図り、国際化時代に対応した東北畜産振興に資するため、本大会が開催されました。以下に大会の概要を紹介します。

特別講演 「生殖免疫学、特に、家畜における早期妊娠因子の検出とその応用について」

岩手大学農学部教授 安田泰久
「反芻動物の代謝とホルモン分泌調整」
東北大学農学部教授 佐々木康之

学会功労賞 「宮城県における畜産の生産と消費の交流」

宮城県畜産会総括畜産コンサルタント 高橋 功
学会学術賞 「1年2作体系の飼料生産を活用した日本短角種肥育牛の給与技術」
東北農業試験場主任研究員 篠田 満

シンポジウム 司会 東北大学名誉教授 水間 豊
テーマ「国際化の進展と今後の東北畜産の方向」

- 1 「東北畜産の占める位置とその特徴」

- 東北農政局畜産課長 山本 洋一
- 2 「黒毛和種の改良方向と今後の課題」
盛岡種雄牛センター業務課長 和田 功
- 3 「生産者の組織化による養豚戦略」
佐藤養豚場社長 佐藤希志男
- 4 「国際化の中で東北酪農はどこに向かうのか」
東北大学大学院助手 篠原 久
- 5 「産直運動と農家畜産」－付加価値の追求－
仙南加工連生産販売部長 日下輝美男

一般講演 30題

一般講演については、育種・改良部門が4題、生理・生態部門が8題、繁殖部門が4題、飼料・栄養部門が10題、草地部門が2題そして畜産物利用部門が2題発表され、宮城県内からは東北大をはじめとして以下の講演が行われました。

- 1 黒毛和種の産肉肉質に関する系統間差異について
- 2 特定種雄牛の息牛におけるDNA多型と近交係数および血縁係数との関連性
- 3 土地利用型酪農放牧地における土壌性ダニ類の比較
- 4 経験牛の存在が子牛の採食行動と新規植物の学習に及ぼす影響
- 5 育成時の粗飼料給与割合が異なる肥育牛における発育ならびに血液中ビタミンA濃度について
- 6 最近の牛乳のタンパク還元価（フェリシアナイド還元法）の水準について
- 7 TDN制限給餌による豚肉脂質への影響
- 8 デュロック豚の発育に伴う背脂肪厚の増加と発育形質との関連
- 9 豚の産肉、肉質形質に及ぼすRYR1遺伝子の効果について

第48回東北畜産学会大会は平成10年度に岩手県で開催されます。皆様方のご入会をお待ちしております。
(家畜改良係 鈴木英作)

正統の育ちと味



仙台牛銘柄推進協議会
仙台市青葉区上杉1-2-16宮城県経済連食肉販売課内 TEL.022(264)8449-50

WORLD 50嵐



株式会社 五十嵐商会
仙台市若林区卸町五丁目1番地4
電話(022)236-2525(代表)

畜産振興の明日を担う地方競馬



地方競馬全国協会

県牛削蹄競技大会の結果について

NOSA I 宮城

牛の削蹄技術の向上を目指して開いている「第15回宮城県牛削蹄競技大会」が7月4日古川家畜市場で開かれた。

この競技大会は県装削蹄師会(鈴木定吾会長)が主催し、県とNOSA I宮城が後援し、県内各支部から選ばれた選手10人を含め、装削蹄師会の会員ら併せて約60人が集った。

競技は①蹄師判断②筆答試問③削蹄実技に分けて行なわれ、削蹄実技は割り当てられた牛の前後1肢ずつの蹄を制限時間の20分以内で削蹄するもので、選手たちは汗をぬぐいながら一生懸命に技を披露していた。

審査の結果、昨年に引き続き栗駒町の鈴木典之さんが、みごと最優秀賞に輝いた。鈴木さんを含めた上位入賞者2名が9月17日に盛岡市で開かれる東北大会に出場する予定。上位入賞者については次のとおり。(敬称略)

- 最優秀賞 鈴木典之(栗駒町)
 - 優秀賞一席 飯田光幸(志波姫町)
 - 優秀賞二席 加藤清(南郷町)
- (家畜課長 菊地重夫)

第7回全国和牛能力共進会結果報告

全国和牛登録協会宮城県支部

第7回全国和牛能力共進会が平成9年9月11日から15日の5日間、岩手県産業文化センター(種牛の部)と岩手県畜産流通センター(肉牛の部)において開催されましたので、本県の出品牛の結果を下記のとおり報告いたします。

第7回全国和牛能力共進会褒賞一覧表

区分	各号	父牛	褒賞順位	住所	氏名
若雄の1	宮波	第2波茂	1等賞4席	宮城県畜産試験場	
若雄の2	村鉄	第2波茂	1等賞1席	宮城県畜産試験場	
若雌の1	はる	第2波茂	優等賞15席	中田町	沼倉 巧
若雌の2	おくおなみ	奥茂	1等賞3席	米山町	及川養治郎
若雌の3	あまなみ	第2波茂	1等賞4席	色麻町	橋本 三学
若雌父系牛群	たかにしき なみふる とちしげなみの9 はるかみ	第2波茂 第2波茂 第2波茂 第2波茂	1等賞4席	迫町 米山町 豊里町 南方町	守屋 慶市 佐藤 浩志 中川 弘明 亀田 昇
繁殖雌牛群	いとあき あきひろ 4はつひめ ひさしげ	秋重 秋重 初代14 第2波茂	1等賞4席	中田町 南方町 米山町 米山町	春日 一男 佐々木孝男 大立目敏夫 蛇好 哲郎
高等登録群	第11おかべ 第2おかやす 第4おかやす	茂重波 宮滝 安谷	2等賞2席	南郷町 南郷町 南郷町	後藤 恵一 後藤 恵一 後藤 恵一
肥育父系牛群	茂博桜 民波 崎鉄	第2波茂 第2波茂 第2波茂	1等賞	中田町 中田町 登米町	千葉英軍司 千葉英軍司 伊藤 幸一

'97ナチュラルチーズフェアの

開催について

(第11回みやぎミルクランドフェア)

宮城県牛乳普及協会

本年度のナチュラルチーズフェアは従来それぞれ単独で開催してきました「農業まつり」「みやぎ米まつり」並びに「みやぎ特産 味の市」と共同開催し「みやぎふれあい農業まつり'97」として実施し、宮城県の農畜産物全般に渡る効果的な普及宣伝を図ることになりました。

会場は従来通りの勾当台公園になりますが、他に市民広場と県庁前広場を使用し巾広い活動を展開致します。

ナチュラルチーズフェア会場では、宮城の食材を利用した大鍋料理を始めとする牛乳料理コーナーや県内乳業メーカーによる牛乳製品の試飲・即売コーナー、国産ナチュラルチーズの展示・試食コーナー、ふれあい動物ランド、イベントステージでの各種イベント、更には骨密度測定やアトラクションコーナーもあります。食べて遊んでそして学ぶ様々なコーナーを設置しております。又、本年度は宮城の食材(米・仙台牛、野菜、牛乳等)をプレゼントに3会場でのスタンプラリー他盛り沢山のイベントになっておりますので、どうか皆様お誘い合わせの上、ご来場下さるようお願い申し上げます。

※開催日時 平成9年11月8日(土)～9日(日)

午前10時～午後4時


※開催場所 仙台市勾当台公園

(事務局次長 武田良介)

STAR STAR-農業機械

マニュアルフレックタ

倍角ステアリングで
ラクラク作業



TBM1550+A DW1800
(倍角ステアリングボディ) (ディスクブレーキ)

STAR-農機株式会社 仙台営業所
〒985 多賀城市町前2丁目87 TEL 022-367-4573

農林水産祭参加

第37回仙台牛枝肉共進会開催について

J A 宮城経済連

仙台牛の改良意欲高揚並びに生産肥育技術の向上を図り、もって市場流通の確立と生産農家の経営安定化を期すため、平成9年度は下記のとおり開催いたすこととなりましたので、ご案内申し上げます。

記

1. 名称 農林水産祭参加第37回仙台牛枝肉共進会
2. 主催 宮城県経済農業協同組合連合会
3. 後援 宮城県
仙台市
地方競馬全国協会
仙台牛銘柄推進協議会
社団法人宮城県畜産会
社団法人宮城県畜産物価格安定基金協会
仙台中央食肉卸売市場株式会社
株式会社宮城県食肉流通公社
東北くみあい飼料株式会社
株式会社石巻埠頭サイロ
4. 会期 平成9年11月9日(日)~11月12日(水)
5. 会場 仙台市中央卸売市場食肉市場
6. 出品区分及び頭数

第1部 黒毛和種 去勢 (生後月令30ヶ月未満)	50頭
第2部 黒毛和種 去勢 (生後月令30ヶ月以上)	150頭
第3部 黒毛和種 雌	40頭
合 計	240頭

 (食肉販売課)

中国研修生の紹介

你们好低 (ニーメンハオ) 皆さん今日は

宮城県畜産試験場

研修員 金 福子 (ジン フーズ)



中国吉林省と宮城県交友関係10周年をきっかけにして、私は5月14日農業技術の研修員として来日し、現在宮城県畜産試験場の酪農肉牛部の乳牛科で研修しております。

母国では、昭和63年に吉林省延辺大学農学院畜産学部を卒業し、現在延辺農業学校(日本の農業短期大学に相当)

で講師をしております。在学中、乳牛を専攻しなかった私にとって、畜産試験場での研修は目新しいことばかりで先進的な乳牛の飼養管理・搾乳方法・子牛の育成及び育種技術などを研修しながら中国酪農経営へ応用できる部分を習得することに努めています。

研修に入ってから、既に4ヶ月を経とうとしております。この間畜産試験場の皆様からいろいろ事を教えて頂き、また毎日親切な人達に囲まれ、カワイイ子牛の「お母ちゃん」になって楽しい日々を送っております。

生活面においては、寮に一人住まいですので時々子供や家族のことを思い出してホームシックになる時もありますが、残った2カ月の間に少しでも専門知識の幅を広げるために、場長を始め試験場の皆様の親切なご指導を頂いて、一生懸命頑張ろうと思っております。

また日本に来て畜産の研修以外に、仙台の七夕祭り・石巻の花火祭り・宮崎町の盆踊り・一迫町のゆり園・登米町の小学校さらに宮城県で有名な観光地である蔵王・松島などを見学させて頂きました。皆さんどうもありがとうございました。

私は日本の先進的な農業技術だけでなく日本の経済・文化及び生活にも興味を持っておりますので、今後も皆さまからもっといろいろな事を教えて頂こうと思っております。

最後に、私は中国に帰ったら、日本で習った皆さんの技術と文化を活用し、中国畜産業の発展のために、また日中友好(吉林省-宮城県)のために微力ながらも役に立てる方法を模索しつつ、精一杯努力していきたいと考えております。

●効能・・・粗飼料の食い込み、消化吸収促進
悪臭防止、優良堆肥作り
創業38年の販売実績を誇る安全、天然野生酵母



株式会社セイフ 東北営業所
〒980 仙台市青葉区上杉一丁目16番3号
TEL (022) 215-3112
FAX (022) 215-7190



酪農家の

声を反映した製品づくりと安心のおけるアフターサービスはオリオングループの誇りです。

東北オリオン株式会社
本社 〒983 仙台市若林区鶴代町1番69 ☎(022) 284-0691
宮城営業所 古川市新田字泉原敷99-4 ☎989-01 TEL (0229) 36-4330

動物用医薬品 犬・猫用ノミ駆除剤

フロントライン・スプレー

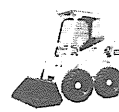
新発売



動物用医薬品
ピタモンE・セレン配合ミネラル固形塩
錠塩E100

東北ペンヤク株式会社
〒981-33 宮城県黒川郡富谷町あけの平2丁目31-5
TEL 022-348-6791 FAX 022-348-6794

TCM 農アタッチメント



糞尿処理工程のあらゆる局面で活躍。畜産農家の近代化に作業の省力化に大きく貢献します。豊富なアタッチメント。

TCM 東洋運搬機株式会社

東北ティール・シー・エム株式会社
983 仙台市宮城野区中野字葦畔135-1
電話 022-259-6351

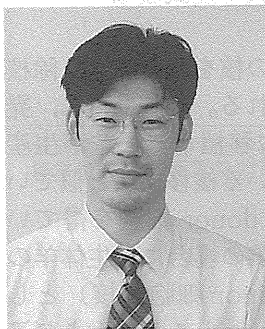
「抱負」

実践大学校生の抱負

迫家畜保健衛生所 技師 高橋 幸治

「第9回全国和牛能力共進会を重視して」

2年生研修委員



この度、迫家畜保健衛生所に配属されました高橋幸治です。出身は鳴子町で実家は酪農を営んでいます。鳴子町は宮城県でも寒冷地になっていきますが、寒さを気にすることなく大学は北海道(酪農学園大学)で学んできました。卒業後、北の地のネオン街で遭難することなく宮城に戻り、仙台で小動物臨床を1年間勉強し、今年から家畜保健衛生

所に入りました。

私は防疫課に所属し病性鑑定、獣医事に関することや家畜衛生調査研究、家畜の保健衛生に必要な試験、家畜防疫情報収集を担当しています。これらは家畜伝染病及び家畜伝染性疾患の発生予防やまん延防止により経済的損失を最小限に防ぐ目的で行っています。

今年の3月に台湾で口蹄疫という牛・豚等の偶蹄類に感染するウイルス性の海外悪性伝染病が発生し、わが国でも口蹄疫防疫対策がとられ、牛・豚を飼養する農家の巡回指導が行われました。私もまだ家畜保健衛生所の業務について何も分からなかったのですが口蹄疫に伴う農家巡回を行いました。巡回指導により、何も知らなかった農家は情報提供を喜んでくれましたが、同時に説明の難しさと巡回指導の大切さを痛感しました。

また、農家にて疾病が発生した場合では、病性鑑定を行い原因を追求し、飼育管理や衛生指導対策を行い経済的損失を最小限に防いでいます。

このような家畜伝染病及び家畜伝染性疾患予防・まん延防止により農家の経済的損失を最小限に防いでいるわけですが、最近騒がれている腸管出血性大腸菌(O-157)、クリプトスポリジウム、サルモネラ菌など人獣共通伝染病が問題視されてきています。以前から結核病を始めとする一部の人獣共通伝染病については感染家畜の摘発、沙汰を行い発生の予防に努めてきました。今後はHACCP(HAZARD ANALYSIS CRITICAL CONTROL POINT)の農家導入による衛生指導などによりさらに発生予防に努めなければいけないと思います。

また、人獣共通伝染病は家畜の他にペットがキャリアーとなることがあり、現在はあまり問題視されていませんが、今後ペットにも家畜と同じような指導を考える必要があると思えます。まだまだ農家から教えられることが多いですが、畜産農家の経営にプラスになる衛生指導、防疫対策が一日でも早く出来るようになりたいと思いますので、皆さんよろしくお願い致します。

『全国和牛能力共進会』が岩手県滝沢村および紫波町で行われました。私達2年生11名は、先生達と一緒に全共を中心に畜産関係施設の視察研修を2泊3日で行いました。(下表)書きたいことは沢山あるのですが、字数が足りなくなるので、全共の感想を書きたいと思います。

まず2年生全員が感じたことは、全共がこれほどのスケールで行われるとは思わなかったことです。種牛の部では全国から282頭の牛が出品され、遠く宮崎や鹿児島からもたくさんの牛が出され「力入ってるな。」という感じがしました。宮城の牛が控えている牛舎にお邪魔してみると、牛の手入れにみんな一生懸命でした。宮城の牛舎には他の県の人達も見に来ていて、全国から注目されているのが分かりました。ただ、上位に入った牛が思ったより少なく残念でした。県内でとても立派に見える牛が全国に入ると小さく見えてしまい、全国には和牛に心底、力を入れている人達が沢山いるんだなとビックリしました。

また、牛の出品だけでなくたくさんの出店が出ていて、本当にお祭りみたいでした。農家じゃないような家族ずれの人もたくさんいて、こういう畜産のイベントがもっとあれば良いと思います。

全共の資料を見ていたら、過去の全共のテーマと開催年が書いてありました。それを見ていくと和牛が肉用牛として改良されていき、改良組合を組織して力をつけてきた。そして、国際化の波にさらされながらも、今回、育種価を取り入れて、さらに和牛を発展させようとする時代の流れが分かりました。次回は、平成14年に岐阜県で開催されますが、そのテーマにあった牛を作って、その牛と一緒に岐阜に行けるよう頑張りたいと思います。

畜産学部2年視察研修スケジュール

日程	視 察 先
9月12日	牛の博物館ミュージアムトーク 雪印種苗(株)北上工場 全共(種牛の部)
13日	家畜改良事業団盛岡種雄センター 家畜糞尿脱臭装置の公開展示会 全共(種牛の部)
14日	全共(種牛の部)

KOMATSU

カンタン操作で、
飼料も堆肥もラクラク作業



コマツ宮城株式会社
仙台市宮城野区扇町二丁目1の30
電話(022)(237)7441番(代)

飼料は  まるきた印

採卵鶏用配合飼料
ブロイラー配合飼料
肉牛用配合飼料
乳牛用配合飼料

北日本飼料株式会社
石巻市川口町3丁目2番8号
TEL石巻 0225 (22) 6111
FAX石巻 0225 (22) 6116



<畜試便り>

最近のクローン研究について

宮城県畜産試験場

クローンとはいったいどういうことか？一般的に「遺伝的に同一な遺伝子を持った個体群」と定義されている。自然界における一卵性双子あるいは切断二分離による双子もクローンである。しかし、これには数に限界がある。それを越える技術として核移植という技術がある。畜産試験場では牛の核移植技術についての研究を平成3年から行っている。平成6年には県内初の核移植によるクローン牛が誕生している。その手法は、過剰排卵し、人工授精した雌牛（donor牛）から発生の初期段階の胚（16細胞～32細胞期胚）を採取する。もう一つは食肉処理場から採取した卵巣から卵子を取り出す、その卵子からDNAの入っている核を取り除く（recipient卵子）。その卵子にdonor牛から採取した胚をばらばらにして（16個～32個の細胞）、その中の1細胞（割球）を挿入する。この胚を8日間培養し発育した胚を借り腹牛（recipient牛）に移植する。この方法を用いることにより同じDNAを持っている牛をたくさん生産することができる。しかし今年2月に常識を覆す研究論文が発表された。

今年の2月科学雑誌のNatureに『Viable offspring derived from fetal and adult mammalian cells.』という論文が掲載され新聞、雑誌、テレビ等で一躍話題となった。これは、スコットランドのエジンバラにあるロスリン研究所のI. Wilmutらの研究によるものであった。なぜ大きなニュースになったのか？それは、体細胞をdonor細胞に用いた点にある。体細胞は分化して各器官になりそれぞれ異なった機能を営んでいる（例えば脳、心臓、肝臓のように）。遺伝的には全てにおいて同じDNAを持っている。したがって、分化した体細胞を用いて核移植を行えば1頭の成体からのクローンの数は想像を超える数になる。これが今回世界的なニュースになった理由である。その手法は次のようなものであった。まず6歳のメス羊の乳線細胞を取り出しある条件で培養した（donor羊）。他のメス羊から

採取した受精していない卵子の核を取り除き、除核した卵子に乳線細胞の核を入れる。細胞融合し、発生を始めた胚をrecipient羊に移植して子羊が生産された。手法は現在行われている核移植法と似ているが、一般的には受精卵からdonor細胞を得ているのに対し、今回のクローン羊の場合には生体羊の体細胞である乳線細胞からdonor細胞（核）として用いた。交配の関与がなかったところに大きな違いがあることから一部の新聞に“父なしのクローン羊”という題名も見られた。しかし、この報告では分化した体細胞を用いた場合、乳線細胞による羊は1/227（0.4%）と1頭しか生まれていない。再現性があるのかという意見もあったがこの技術により新たな可能性が生まれたことは事実である。

畜産試験場におけるクローン牛の生産成績は移植頭数50頭、受胎頭数18頭、生産頭数15（双子2組）である。しかしこの技術における問題点は

1. 移植可能な胚に発生する割合が現在20%である。
2. 受胎率が低い（36%）。

等があり、これは除核をすうときの顕微操作、卵子への薬品処理、培養条件等が影響しているものと考えられる、今後以上の点を改善するように更に研究を継続中である

(バイオテクノロジー研究科 及川俊徳)

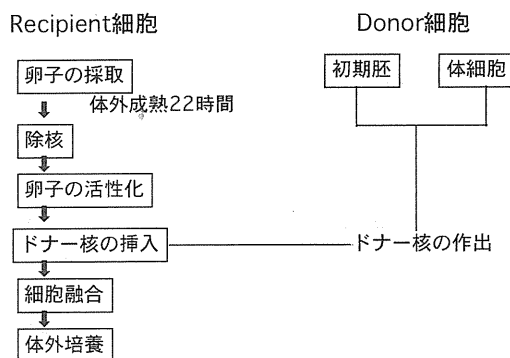


図 クローン家畜の作出方法

ビフィズス菌は
 ヨーグルト中の乳酸菌の働きは、どれも同じではありません。
 洗きたまま陽までとどきます。

ビヒダス
 ヨーグルト

ヨーグルト 500ml
 名取市飯野五丁目1番3号
 宮崎乳業株式会社 (022) 384-5181

来客 接待に牛乳を!!

県産牛乳の需要拡大を図る為、各団体並びに生産者団体におかれましては、会議、来客等に、従来のお茶に変わり牛乳をご利用下さるようお願い申し上げます。

宮城県牛乳普及協会
 仙台市青葉区錦町一丁目6番5号 ☎022(263)7688

肉牛出荷、素牛移動ストレス対策の栄養管理に!!

ルビックス
 牛用混合飼料

S
 アミノ酸、ビタミン、ミネラル強化混合飼料

農協 全農 経済連

<衛生便り>

牛のリステリア症

仙台家畜保健衛生所

リステリア症は古くから人や動物に髄膜炎、脳炎、敗血症、流産などを引き起こす人畜共通伝染病として知られています。わが国では1948年に子山羊ではじめて診断され、その後、動物以外に人での発症も報告されています。

原因菌は *Listeria monocytogenes* で、哺乳動物、鳥類、魚類、昆虫などさまざまな動物から分離され、土壌、河川水、下水、汚泥、植物、サイレージなど広範囲の環境からも分離されています。この菌は13種類の顔(血清型)を持ち、1990年までに患畜から分離された血清型は大部分が4b型(76%)です。通常の菌は37℃の条件下で最も発育しますが、この菌は低温(20~25℃)を好み、4℃でも発育することが特徴です。このため、低温保存食品でも増殖する可能性があります。

本菌が牛に感染した場合の病型は、主として脳炎となりますが、稀に流産や敗血症になることもあります。脳炎の症状は、食欲不振、沈鬱、発熱、興奮、流涎、斜頸、平衡感覚失調、旋回運動、失明および眼の障害、嚥下困難、顔面麻痺、起立不能等の症状がみられ、その後昏睡に陥り1~3日の経過で死亡します。

牛での感染は、本菌に汚染した変敗サイレージからの感染事例がほとんどを占めています。サイレージ管理に不備があった場合、サイレージの酸度が落ち、本菌の増殖に好適条件となります。このため、予防としては、飼料の衛生管理が最も大切な条件となります。

治療は、人の場合、早期に診断し、適切な抗菌性物質の投与が行われれば治癒する可能性の高い疾患ですが、牛では、テトラサイクリン等の抗菌性物質が有効であるとする報告がありますが、病巣が脳幹部実質に形成された場合、機能的障害を生じ予後不良となります。

(病性鑑定課 大久範幸)

酪農テーマパーク

『ミルクファーム蔵王』オープン

大河原家畜保健衛生所

県内でも有数の酪農地帯である蔵王連峰の裾野に、この春、生産者と生活者が一体になって創造・体験・交流するための施設がオープンしました。

これは、酪農家・消費者・専門農協が共同で設立した(株)ミルクファーム蔵王が、約3万㎡の敷地内に平成7年度から整備を進めているもので、生産者の顔の見える牛乳づくり・新鮮でおいしい牛乳づくりを通して生産と消費の拡大を図り、希望ある酪農経営を実現することを目的にしています。

ここでは、地域の酪農家が生産した生乳を製品化する「牛乳プラント」を核にして、ホルスタインの実物模型や牛乳に関するパネル・牛乳瓶の蓋などの展示のほか、酪農グッズや各種乳製品を集めた売店などからなる「酪農のPR・歴史資料展示施設」、環境にやさしいエネルギーを生み出す「風力発電機」、心が安らぐ「遊歩道・ハーブ園」などが整備され、本年4月25日にグランドオープンしました。

さらに、今年度は、ジャージー種・ブラウンスイス種・ガンジー種の生きている牛で実際に乳搾りができる「搾乳体験牛舎」及び各種ハーブを育てる「園芸用ハウス」の整備を進めています。

施設の整備に係る総事業費は4億1千万円で、自己資金で対応した「牛乳プラント」を除いて、JRA日本中央競馬会の「特色ある地域畜産の創造・体験交流促進事業」を活用しています。

なお、本年10月17日には、東北各県から消費者・畜産関係者を集めて、「畜産とのふれあい・体験交流会」を当地で開催しますので、ぜひ一度、この『仙南の酪農小国』を訪れてみてください。

(指導課長 高橋 健)

宮城県動物薬品器材協会 (会員名)

(株) タ ッ ク 仙台市青葉区上杉3-3-8 TEL022-225-7330	(株) 美 濃 谷 仙台市太白区羽黒台31-14 TEL022-245-4306
(株) エ ー シ ン 仙台市若林区卸町2-10-3 TEL022-284-8111	小 田 島 商 事 (株) 古川市清水字周防10-1 TEL0229-26-4567
(株) ト ー シ ン 古川市古川字上古川屋敷9-1 TEL0229-24-3211	(株) ニ 子 エ ー 仙台市若林区卸町東1-8-20 TEL022-232-9755

ーガット・ウルグアイ・ラウンド対策ー

経営効率化機械リース助成事業

ゆとりある経営をリース助成制度の利用で実現！

この制度は、リース料の一部を助成し、借受者の負担を軽減するものです。

①助成対象機械装置

リース料助成対象機械の種類		リース期間
新搾乳システム関連	ミルカーユニット、自動離脱装置	3年以上5年以下
	自動計量装置、自動洗浄装置	3年以上5年以下
	付帯機器 ビット内ストール、ゲート	5年以上8年以下
	バルククーラ	6年以上8年以下
自動給餌システム関連	自動給餌機、サイレーン取り出し機械	5年以上8年以下
	飼料混合調製機械、飼料粉碎用機械	5年以上8年以下
	飼料運搬装置、飼料荷受け装置	5年以上8年以下
	飼料貯蔵装置	5年以上8年以下
畜舎内環境制御関連	微気象制御システム、セミウインドレス装置	4年以上6年以下
省力化飼養管理関連	パソコン、パソコン周辺関連	4年以上6年以下
その他	高床式分娩ケージ	5年以上8年以下
	多機能床パネル、生体肉質測定機	3年以上5年以下
	高圧洗浄機、堆肥搬出用機械	3年以上5年以下
	送風機	4年以上6年以下
	体重測定機	6年以上8年以下
	特認機械	対象機械により算定

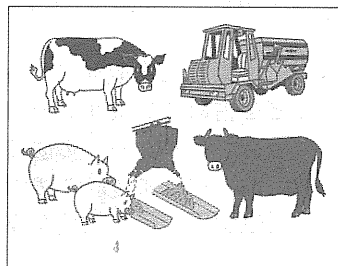
②リース助成の対象者

乳用牛、肉用牛、豚その他の畜種を飼養する「認定農業者」および都道府県知事が適当と認める経営者（個人・法人）、また、農協、農協連、事業協同組合、特認団体も対象となります。

なお、転貸する場合も対象となります。

③リースのメリット

1. 多額の資金を用意する必要がありません。
2. リース料は経費として処理できます。
3. 手続きが簡単です。
4. コストが正確に把握できます。



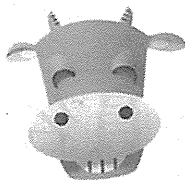
リース助成事業のご相談は、宮城県畜産会へ

〒981-12 名取市増田字柳田379-1

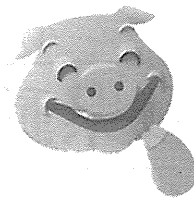
TEL 022 (382) 8133

FAX 022 (382) 8135

農林水産省畜産局
社団法人中央畜産会
都道府県畜産会



肉の日
毎月29日は肉の日です



お肉は、私たちの体の血となり肉となる、たいせつなタンパク源。ビタミン、ミネラルも豊富な、たいへん優れた食品です。

宮城県食肉消費対策協議会

〒981-12 名取市増田字柳田379-1 (社団法人・宮城県畜産会内)

電話 022-382-8133